

横浜市立新治小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本がわかり、問題解決に向けて進んで学習する子を育てます。(知)【ひびく心】 ○豊かな人間関係を通して、他者を思いやり、物事の善悪の判断ができる子を育てます。(徳)【ひびく心】 ○健康で安全な生活を心がけ、自分や人を大切にする子を育てます。(体)【はずむ体】 ○社会の一員として行動し、地域と豊かな関わり合いができる子を育てます。(公)【みつめる目】 ○日本の伝統や文化を尊重し、国際社会の平和を考える子を育てます。(開)【みつめる目】 	<ul style="list-style-type: none"> <自ら学び、主体的に学んでいく力> <言語能力> <自他を大切にし、社会と関わる力>

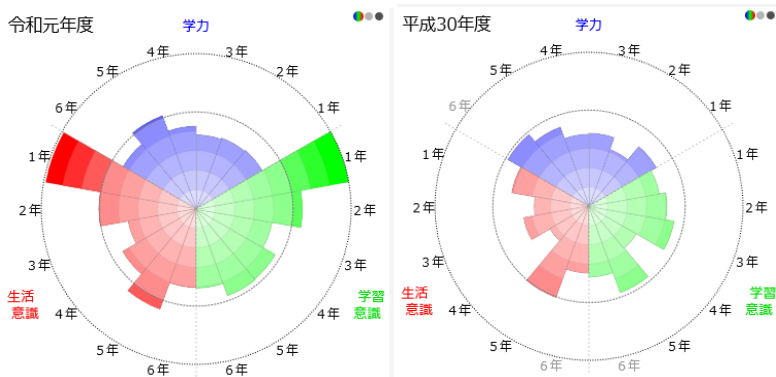
(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○新治のよさを持続して活かしながら、よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指します。 ・友だちや周囲の人を大切にし、場に応じて望ましい言動や表現ができる子どもたちを育てます。 ・学力向上のために、主体的で対話的な授業づくりや学びの楽しさを実感できる教育活動の改善を推進します。 ・地域や保護者等の学校関係者と連携、協力しながら、共に子どもたちを育む学校づくりを推進します。 ・子どもたちのよりよい成長のために、全教職員が情報を共有して取り組むチーム力の向上を目指します。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>確かな学力</p> <p>担当 教師力を高める委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校として育んでいく力を焦点化し、「学力向上アクションプラン」に策定する。 ・重点研究では、生活科、総合的な学習の時間について研究することで、主体的に学習に取り組む態度を養いながら基礎・基本の定着を図る。 ・児童支援専任や専科担当教諭と連携し、きめ細かい学習支援を行う。

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



横浜市の平均と比較すると、市の平均を下回っている学年が多い。平成30年度と比較すると、学力、学習意識、生活意識ともに増加傾向にある。学習への意欲はどの教科においても高くなっているのに加え、生活意識においても、ノートをいねいに工夫して書いたり、自分の考えを発表したりできる児童が増えている。

教科ごとに分析していくと、国語では、学年によって、得意分野と課題分野（「書く」「言葉」「読む」「話す・聞く」）にかなりの違いがある。算数では、「数学的な考え方」に課題が見られる学年が多い。中でも図形に関する問題やグラフを比較して考えることが難しかった。理科では、予想や実験結果を踏まえた「思考・判断」の力が弱い。理科意識においても他教科に比べ低いことから、課題設定や実験への仮説や予想を大切に授業を行い、事象への興味関心を深める工夫が必要である。社会科においても「思考・判断・表現」に課題が見られる。

各教科への関心を高めていくためにも、教材研究を進めていくとともに、自ら考え主体的に学ぶ子の育成を図り、学びの楽しさをいろいろな教科につなげていけるよう、カリキュラムマネジメントを進めていく。また、生活意識や学習意識においても自信をもって生活できるように学校として指導を重ねていく。(※令和2年度は横浜市学力・学習状況調査を実施していません。)

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	○身近な語彙の豊かさ ○約束やきまりを理解する力 ○問題を発見する力 ○基本的な生活習慣をつくる態度	○国語では、入門期の子どもたちが想像を膨らませながら楽しくお話の世界に浸れるように、音読や読み聞かせを継続的に行うことに重点を置く。 ○算数では、具体的な操作活動を通して、基礎基本の定着を図る。	○人とのかかわりの中で想像力を養い、伝え合う力を身に付けられるようにする。 ○算数では、計算の仕方を考えることで数の構成の理解を深める。
		○国語では、身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う。 ○約束やきまりを守り、楽しく生活しようとする。 ○身近な事象に積極的に関わる中で、気づいたり、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむ。 ○気持ちのよいあいさつをすすんでしたり、当番などの仕事に進んで取り組んだりする。	○国語では、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにする。 ○新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにする。 ○学校のルールを守り、規則正しい生活をする。
3年	○思考語彙の豊かさ ○人と情報を交換する力 ○観察・洞察する力 ○主体性・積極性	○国語では、話す・聞く力を中心に据え、伝えたいことを整理して話したり大事なことを落とさずに聞いたりする力をつけていく。 ○課題を解決する楽しさを味わえる授業づくりを心がけていく。 ○体験を通した楽しさや、自分自身の成長が実感できる学びの場を増やしていく。 ○自分と地域のつながりに気づき、地域の活動に参加できる子どもを育てていく。	○国語では、話す・聞く力を中心に据え、伝えたいことを相手に伝わるように、分かりやすくまとめ表現する力をつけていく。 ○仲間と力を合わせて課題を解決する楽しさを味わえる学び合いの場を多く設定した授業づくりを心がけていく。 ○体験を通した探究活動の楽しさや、自分自身の成長が実感できる学びの場を増やしていく。 ○自分と地域のつながりに気づき、地域の活動に感謝できる子どもを育てていく。
		○自分の考えと、それをささえる理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力をつけていく。 ○自分の伝えたいことを整理し、相手に伝わるような表現方法を工夫する。 ○事象を関連付けながら調べ、見出した問題に興味関心をもって追及する活動を多く設ける。 ○地域との関わりから願いをもち、問題解決的に学習を進めることができるようにする。	○目的や意図に応じ、調べたことを報告する文章を、自分の考えが伝わるように工夫して書くことができるようにする。 ○必要な情報を得るために、話し手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えをまとめたりする力をつけていく。 ○問題に興味関心をもって追及し、規則性についての見方や考え方の活動を多く設ける。 ○地域との関わりから感謝の気持ちをもち、学習を進めることができるようにする。
5年	○豊かな表現を工夫する力 ○目的に応じて伝達する力 ○問題を認識し、解決策を見出す力 ○自他を理解し、自分らしさを発揮しようとする姿勢	○表現の仕方を考え、他者に的確に伝えることができるように、発信の仕方を工夫することができる子どもを育てる。 ○自分の意図を目的に応じて伝達させ、比較・分類・整理する力につなげる。 ○様々な情報を選択・活用し、批判的に考える力や計画的に表現する力をつける。 ○人々と協調して活動できる能力を身に付ける。	○相手意識をもち、発信の仕方を考えて取り組むようにする。 ○正確さを判断する力をつけ、分類した情報を再整理することができるようにする。 ○語彙の豊かさを感じながら、学習に取り組めるようにする。
		○他者に的確に分かりやすく伝えることができるように、豊かな表現を工夫することができる子どもを育てる。 ○自分の意図を目的に応じて理解し、比較・分類・整理する力につなげる。 ○様々な情報を選択・活用し、協働的に解決策を見出し実行する力をつける。 ○反復練習を重ね、基礎的な知識を定着させ、応用問題へつなげる。	○伝え合うことで集団の考えを発展させ、自分自身の理解の深化につなげる。 ○自分の考えの妥当性や信頼性を吟味する力を育てる。 ○地域とともに、自分ができるところを見つけ、実践していく力をつける。
6年			

<p>個別支援学級</p>	<p>○感じたことを言葉にする力 ○好奇心 ○自己肯定感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事をする習慣をつける。 ・得意なことを見つけて楽しむことができるようにする。 ・友だちのいいところに気付くことができるようにする。 ・友だちと仲良く活動する。 ・個々の実態に応じて、話す力、聞く力、読む力、書く力、計算する力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことにも挑戦する気持ちをもつ。 ・できることを増やしたり、友だちと助け合って活動する楽しみを味わったりできるようにする。 ・自分の思いや状況を伝える力を育む。
---------------	--	---	---